## 受水槽容量計算書

	建物種別				用人員(人) 末面積(㎡)	= 1日当たり使用水量(L/日)			
使用水量									
	その他補給水量								
	合計水量 Q1						Q1	m³	
水槽の貯水容量	消火用水量	m³ 受水槽と共用時の容量 Q2						m³	
	有効容量							呼称容量	
		1日当たり使用水量(Q1 or Q2) × 使用時間 = 有効容量						有効容量×10/8	
	受水槽		×		=		m³		
			×		=		m³	m³	
	<del></del>	1日当たり使用水量 (Q1 or Q2) × 1/10 = 有効容量						有効容量×10/8	
	高置水槽			/10	=		m³	$m^3$	
	1444	1日当たり 1日当たり	使用水量 × 1. 使用時間	. 2 = 神	甫給水量				
	補給水量		×	1. 2	=		m³	m³	
メーター口径決定	1日当たり使用水量 (Q1 or Q2) × 30日 = 1か月当たり使用水量							ター適用基準	
	× 30 目 = m²/ 月 Q3 ├──						口径(mm) 13	月間使用量の上限(㎡/月) 115	
	< Q3 <							170	
	25							225 565	
	よって、メーター口径は $\phi$ mmとする。 $\frac{40}{50}$							2, 200	
	75							4, 200	
							100	6, 900	
水槽の構造	形式	形 式 地上式 · 地下式 · 半地下式							
	材質	FRP · SUS · コンクリート · その他 (					)	槽式	
	給水管口径	mm	mm 定水位弁口径		- 吐水口空間	壁からの離れ(B)		mm	
	流入管口径	mm	ボールタップ口径	mm		越流面為垂直距離	いら吐水口の 推(A)	mm	
備	考								